



2021年10月18日

日本鉄道労働組合連合会

## 3産別要請行動【2021秋・第3弾】～サービス連合・航空連合と連携！～

### 不安払拭や需要喚起に向け国民民主党と意見交換



10月13日、JR連合・サービス連合・航空連合の3産別は、今秋の共同行動の第3弾として、国民民主党所属の国会議員と交通運輸・観光サービス産業に対する不安払拭や今後の需要喚起策など、喫緊の政策課題について意見交換を行った。

意見交換会には、JR連合「国会議員懇談会」会長の榛葉賀津也参議院議員および幹事の岸本周平衆議院議員、国民民主党代表の玉木雄一郎衆議院議員をはじめとするJR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属議員10名を含む総勢15名の国会議員が出席した。

冒頭、3産別の各会長は「ワクチン接種が進展しフェーズが変わりつつある中、私たちの産業を守るべく支援をお願いしたい」「行動制限緩和に向けた実証実験をはじめ、公共交通や観光に対する安心感の醸成が必要」「第6波の到来を抑えつつ、科学的見地に基つき人の移動を取り戻したい」旨を改めて訴えた。

これに対し玉木代表は「人流は徐々に回復しつつあるが、この間に蒸発した利益の影響も考慮し対策を打つことが重要である。とりわけ、コロナ禍で大きく傷ついた3産別には手厚い支援を行いたい」と応えた。



3産別を代表してJR連合の荻山市朗会長は、①安心して移動や観光ができる環境の整備、②雇用を維持・確保するための支援策の継続・拡充、③事業者の資金繰り支援や財政負担軽減措置の拡充・創設、④交通運輸・観光サービス業の需要回復・拡大に向けた持続的かつ安定的な支援策の実施について要望の内容を説明し、理解と協力を求めた。

各議員からは、私たちの主張に賛同する立場で、政府からの正しい情報発信のあり方や、支払猶予を受けた公租公課の支払い方、需要促進に向けた取り組み、雇用調整助成金の財源の確保等に関する意見・アイデアが複数出されたほか、JR会社間や経営側との連携強化の必要性や自然災害が多頻度化する中での中山間地・地方路線のあり方にも話が及び、幅広く意見交換を行う貴重な機会となった。

今後もウィズコロナ社会の継続を念頭に、「感染拡大防止」と「経済活動の回復・活性化」の両立と「人流の回復」に向け、3産別の共同行動を積極的に展開する。

意見交換会出席の国会議員

氏名	衆・参	役職等
榛葉 賀津也	参	国会議員懇談会長
岸本 周平	衆	国会議員懇談会幹事
古川 元久	衆	議員フォーラム所属
大塚 耕平	参	議員フォーラム所属
伊藤 孝恵	参	議員フォーラム所属
玉木 雄一郎	衆	議員フォーラム所属
西岡 秀子	衆	議員フォーラム所属
足立 信也	参	議員フォーラム所属
浜野 喜史	参	議員フォーラム所属
川合 孝典	参	議員フォーラム所属
矢田 わか子	参	議員フォーラム所属
田村 まみ	参	議員フォーラム所属
舟山 康江	参	国民民主党 政調会長
磯崎 哲史	参	国民民主党 政調会長代理
浜口 誠	参	国民民主党 企業・団体委員長